

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

＜試料・情報の利用目的及び利用方法＞

●研究の名称

当院における進行性尿路上皮癌に対する EVP 療法の臨床的検討

●研究の対象

2025年1月9日から2026年5月31日の期間で、京都第二赤十字病院泌尿器科において、尿路上皮癌と診断され EVP 療法を施行された患者さんを対象とします。

●研究の目的

Enfortumab Vedotin+Pembrolizumab 併用療法（EVP 療法）は、EV-302 試験で従来の化学療法に対する有意な OS/PFS の改善を示し、進行性尿路上皮癌一次治療の新たな標準治療となりました。

そこで、当院における進行性尿路上皮癌に対する EVP 療法の治療効果および安全性プロファイルを後ろ向きに調査し、進行性尿路上皮癌に対する最適な治療方法を検討することとしました。

●研究の期間

研究機関の長の実施許可日から2026年10月30日まで

●研究の方法

日常診療時に得られる下記の＜利用する試料・情報の項目＞について調査します。

＜利用する試料・情報の項目＞

●試料：なし

●情報：年齢、性別、臨床病期、原発巣、手術の有無、転移部位、最良効果、薬剤投与量、有害事象、転帰

なお、利用する上記の情報からは患者さんを直接特定できる個人情報削除します。

＜利用を開始する予定日＞

研究機関の長の実施許可日

＜利用する者の範囲＞

●研究機関名および研究責任者名

京都第二赤十字病院 泌尿器科 山田 剛司

《試料・情報の管理について責任を有する機関の名称》

京都第二赤十字病院

《試料・情報の利用の停止（受付方法含む）》

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料・情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、以下の《問い合わせ先》にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、解析が完了している、結果が論文などで公表されているなどの理由であなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

《問い合わせ先》

研究機関：京都第二赤十字病院

担当者：泌尿器科 松尾 拓海

住所：〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 番地の 5

TEL：075-231-5171（代表）